

震災からの復旧そして復興へ

～ システム稼働までの14日間～



福島県国見町
企画情報課企画情報係

半澤 一隆

国見町の紹介(1)

国見町は、福島県の最北端に位置し、北は宮城県白石市、東は阿武隈川を挟んで伊達市、南は桑折町と隣接し、信達盆地の肥沃な土地に恵まれた町です。年平均気温は13.3度で比較的寒暖の差がある内陸性の気候です。

また、県都福島まで16.5kmの距離にあり、南北に東北本線(藤田駅・貝田駅)東北新幹線・国道4号線が走り、さらに東北自動車道の国見インターチェンジを有し、交通の便にきわめて恵まれています。

主な産業は農業で、米や果樹(もも・りんご・柿・サクランボなど)、畜産、野菜などが盛んに行われています。

- ・人口 9,985人(平成23年9月1日)
- ・世帯数 3,189世帯(平成23年9月1日)
- ・職員数 185人(平成23年10月1日)

特に「あかつき」は国見町を代表する果物です。とてもジューシーで果肉の質もよく、香り高い風味を誇ります。



国見町の紹介(2) ～阿津賀志山防塁～



文治5年(1189)の奥州合戦の際、奥州平泉の藤原泰衡が、源頼朝の率いる鎌倉軍を迎撃するために、阿津賀志山中腹から阿武隈川に至る約4kmにわたり、堀と土塁からなる長大な防御施設を築いたのです。

これが現在も残る国指定の史跡『阿津賀志山防塁(通称二重堀)』です。これは、福岡市の元寇防塁、太宰府の水城防塁とならぶ日本三大防塁の一つとされ、全国的にも珍しい史跡であると言われています。

国見町の紹介(3) ～ 義経の腰掛松、弁慶の硯石 ～

国見町には「義経の腰掛け松」や「弁慶の硯石」など義経にまつわる伝説が残っています。



義経の腰掛け松

赤松の老名木。源義経が奥州平泉に行くときにこの地で休み、そばにあった松の木に腰を掛けたという伝説が残されています。現在の木は、2代目で樹齢200年。



弁慶の硯石

国見町の紹介(4) ～ 国見町義経まつり～



国見町には源義経や武蔵坊弁慶の足跡を伝える伝説が残っています。また、国指定史跡である「阿津賀志山防塁」は、日本三大防塁の一つといわれ、全国的にも大変貴重な史跡とされています。

今から821年前、その防塁を境にして対峙した源頼朝を総大将とした鎌倉軍10万余の軍勢と藤原泰衡の率いる藤原軍2万余の軍勢。その戦いの結果、鎌倉軍により全国統一された戦いが奥州合戦です。

そんな歴史的背景のもと往時に思いをはせ、義経まつりを開催しております。

国見町の紹介(5) ～ 国見町観月台文化センター ～



文化と福祉活動の拠点施設で、ホールの音響効果には定評があり、各種のコンサートではアーティストの方々からも好評をいただいています。
オーストリア製のベーゼンドルファーというピアノがあり、このピアノが500席収容の中ホールで聞けることは国内でも珍しく、その音色は観客のみならず、弾き手の心も魅了します。

春には桜の名所となります。

現在は、コンサートホールとロビーに役場機能が移転しました。

システム復旧に向けた主な取り組み

日付	内容
3月11日(金)	・余震が続く中、庁舎3階にあるサーバ室より、全職員のパソコンのデータが入っているNASシステム1台だけを持ち出す
3月12日(土)	・全職員により、被害調査を実施
3月13日(日)	・職員及びインフォメーション・ネットワーク福島(INF)のSEなど10人が、倒壊の恐れがある役場に入り、サーバ室と各課から、サーバ・UPS(無停電電源装置)・ネットワーク機器・ノートPC・LANケーブルなどを回収し、移転先の文化センターにピストン輸送を行う ・18:00頃に国見町全域の電源が復旧
3月14日(月)	・臨時職員や女性職員を中心に、回収したノートPCの清掃作業や動作確認 ・役場から切ってきたLANケーブルを流れ作業で自作 ・INFがサーバやネットワーク機器類を、文化センターホールの舞台上へ仮設置 ・文化センターホール内の電源工事業者探しを開始
3月15日(火)	・引き続き、臨時職員や女性職員を中心に、回収したノートPCの清掃作業や動作確認 ・INFがサーバやネットワーク機器の設定及び動作確認 ・文化センターのホールにおける各課のレイアウトを打合せ ・福島市のITベンダの倉庫からレーザープリンタを搬入 ・文化センターの電話1回線だけでは足りず、NTT東日本に電話回線とFAX兼用回線、インターネット回線の設置を依頼 ・福島県庁の情報政策課にLGWANサーバの設置場所移転の連絡をする
3月16日(水)	・電源工事業者が見つかり、即日にサーバ用電源設備の工事を完了 ・日立システムズ東北支社が16日から18日にかけて、住基系システムの設定・動作確認
3月18日(金)	・国見町の全域で水道が回復
3月22日(火)	・インターネット回線が復旧し、文化センター内でのインターネットとメールが利用可能
3月25日(金) 震災14日後	・文化センターにて役場の全業務を開始
3月29日(日)	・LGWANが接続完了
3月30日(水)	・住基系システムのサーバを仙台市の日立システムズ東北支社に移設する前提で調査を開始

震災から復旧そして、復興への軌跡



11月 ・住基系システム、クラウド運用開始
・総務省のFWA無線システムにより、
各施設の無線接続運用開始

情報システムを復興

3月25日
移転先で役場業務を再開

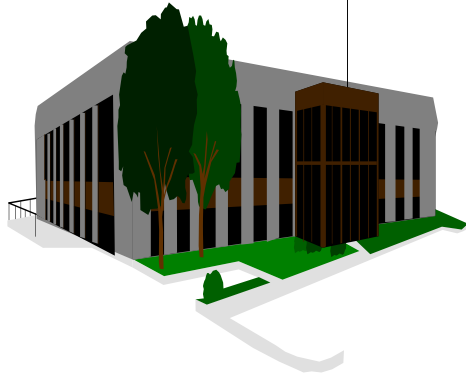
3月11日
震災発生

情報システムを復旧



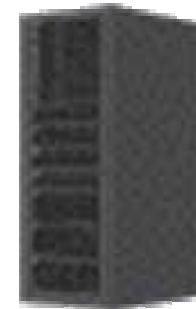
復興策1 サーバハウジングからクラウドシステムへ

観月台文化センター

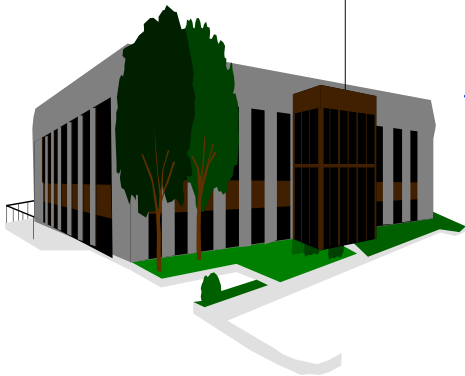


5月13日に仙台市の日立システムズへ
サーバをハウジング

データセンター



観月台文化センター



11月1日よりSaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)
である「e-ADWORLD2」を運用開始

データセンター



復興策2 無線で光ケーブルをバックアップ(1)



復興策2 無線で光ケーブルをバックアップ(2)

15カ所の施設を結ぶ



復興策2 無線で光ケーブルをバックアップ(3)



復旧に役立った日頃の取り組み

LANケーブルを自作する

パソコンのデータを
バックアップする

それぞれのシステムの
構成を熟知しておく

その結果

システムを素早く復旧することができた



ご静聴ありがとうございました。

【お問い合わせ】

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二2 - 1
国見町 企画情報課 企画情報係
電話: 024 - 585 - 2927
E-MAIL: kikaku@town.kunimi.fukushima.jp